



平成28年度一般会計
実質単年度収支は
約3億円の黒字決算（4年連続）

市の平成28年度一般会計決算は、歳入300億6千万円余で前年度対比7億6千万円余（2.5%）の減、歳出281億6千万円余で前年度対比9億2千万円余（3.2%）の減となり、差引額18億9千万円余の黒字となりました。

そして、実質単年度収支額（前年度からの繰越および財政調整基金への積立て・取崩しを除外した決算収支）は、2億5千万円余（25年度2億1千万円余、26年度9億円余、27年度11億3千万円余）で4年連続の黒字となりました。
借入金99億円余であり、4千万円余増えましたが、リーマンショック前の20年度決算時に比較す

れば、1億6千万円余減っています。

また、使用目的を限定していない貯金である財政調整基金の28年度末の残高は、48億1千万円余であり、4年連続の増となりました。なお、使用目的を限定している各種基金も含めると66億6千万円余となります。

平成28年度に行った特徴ある主な事業とその決算金額は以下の通りです。

市営宮下住宅建替事業4億2千万円、碧南レールパーク整備事業3億8千万円、元気づ子医療費助成事業3億5千万円、中小企業償却資産新規取得補助事業1億4千万円、電線共同溝整備関連事業1億2千万円、小学校・幼稚園施設老朽化対策事業6千800万円、新川児童クラブ本館増築事業5千400万円、高齢者入浴サービス事業3千600万円、スクールアシスタント配置事業2千800万円、新築住宅建設等促進補助事業1千400万円、中小企業販路拡大支援事業1千100万円など。

今後とも、将来の発展に資する投資を常に行い「世界に誇る碧南市を目指して」、職員一同最大限の努力を傾注してまいりますので、市民の皆様のますますのご支援、ご協力を心よりお願い致します。

平成28年度

衣浦衛生組合一般会計歳入歳出決算

衣浦衛生組合は、碧南市と高浜市で構成されている一部事務組合です。

組合の事業と決算状況について、その概要をお知らせします。

組合の主な事業

- ・し尿の処理（衛生センター）
各家庭から収集された生し尿、浄化槽汚泥の処理
- ・ごみの処理（クリーンセンター衣浦）
各家庭から収集された、可燃ごみ・粗大ごみの処理および一般廃棄物の処理
- ・ごみの再生処理（リサイクルプラザ）
再利用できると判断された粗大ごみや家庭にある不用品でまだ使える物の展示・販売
- ・温水プールと浴場の運営（サン・ビレッジ衣浦）
クリーンセンターのごみ焼却余熱を利用した温水プール、風呂施設の運営
- ・火葬場の運営（衣浦斎園）

問合せ 衣浦衛生組合 ☎(41)3479

